

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 5 部門第 2 区分
 【発行日】平成 28 年 2 月 4 日 (2016.2.4)

【公開番号】特開 2014-149032 (P2014-149032A)
 【公開日】平成 26 年 8 月 21 日 (2014.8.21)
 【年通号数】公開・登録公報 2014-044
 【出願番号】特願 2013-17804 (P2013-17804)
 【国際特許分類】

F 1 6 D 65/18 (2006.01)

F 1 6 D 65/14 (2006.01)

【F I】

F 1 6 D 65/18

F 1 6 D 65/14 3 0 6

F 1 6 D 65/14 1 0 4

【手続補正書】

【提出日】平成 27 年 12 月 9 日 (2015.12.9)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

一端が開口するシリンダと、前記シリンダ内に摺動可能に設けられるピストンと、前記ピストンによってディスクロータへ押し付けられるパッドと、を有するディスクブレーキであって、

前記ピストンは、パッド側が開口したカップ形状であり、開口側端部の外周側角部に外周面と連続する凸形状の曲面が形成され、少なくとも前記外周面にめっき層を有することを特徴とするディスクブレーキ。

【請求項 2】

前記ピストンは、前記開口側端部の内周側角部に凸形状の曲面を有することを特徴とする請求項 1 に記載のディスクブレーキ。

【請求項 3】

前記外周側角部の曲率は、前記内周側角部の曲率よりも小さいことを特徴とする請求項 2 に記載のディスクブレーキ。

【請求項 4】

前記開口側端部の内周側角部に平面または凸形状の曲面からなる面取り部が形成され、前記面取り部の開始位置は、前記外周側角部に形成された前記凸形状の曲面の開始位置よりもパッド側であることを特徴とする請求項 1 に記載のディスクブレーキ。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 5】

上記課題を解決するために、本発明のディスクブレーキは、一端が開口するシリンダと、前記シリンダ内に摺動可能に設けられるピストンと、前記ピストンによってディスクロータへ押し付けられるパッドと、を有するディスクブレーキであって、前記ピストンは、

パッド側が開口したカップ形状であり、開口側端部の外周側角部に外周面と連続する凸形状の曲面が形成され、少なくとも前記外周面にめっき層を有することを特徴とする。